

研究開発特集  
Special Issues  
Research & Development



研究所長  
竹内 嘉彦  
Yoshihiko Takeuchi  
General Manager of  
Laboratory

---

## 日本無線の研究開発への取り組み

### JRC Efforts in Research & Development

JRCは、永年にわたって培ってきた情報通信関連技術を背景に、さらなる飛躍を目指し、通信機器および通信関連機器製造事業から一歩進んで、活力あるユビキタス社会実現に貢献するICT分野でのシステム構築事業を進展させてまいります。未来に向けて、研究開発本部ではコア技術を軸とした研究開発を行う研究所と、アプリケーションから新たな製品作りのための研究開発を行う技術開発部を中心に、将来事業の核となる新規技術の獲得、新分野の挑戦的開拓をおこなっています。

現在研究開発本部で取り組んでいる分野とその開発項目は、

- (1) 無線通信・ネットワークインフラ分野での、高速・広帯域無線伝送技術、その実現の為にデバイス・モジュール技術、及び高速ネットワーク技術
- (2) 海上機器分野でのレーダの固体化技術
- (3) ユビキタス社会を実現するためのセンサー技術分野、特に、GNSS/ITS分野での、複合センシング技術、及び高感度・高精度化技術

があります。また、その関連分野は、(1)に関しては、無線システムとしてアンテナに関わる技術は必須です。(2)、(3)に関しては、単にセンシングするだけでなく、信号処理を表裏一体で実現しなければなりません。

本技報においては、比較的最近の成果の一部を、それぞれ以下の分野として紹介致します。

- (a) デバイス・モジュール
- (b) システム・ソリューション

また、新分野への挑戦的開拓として、従来から当社保有のSAW（弾性表面波）技術を他産業分野に展開した、

- (c) 新分野

として紹介いたします。

こうした積極的な取り組みのもとで、JRCは付加価値の高いユビキタスICT関連事業への進出をますます加速させてまいります。さらなる先端領域へ、さらなる技術の開拓へ、社会に寄与する価値の創造に向けてさらに情熱を傾けます。